

バーモントカップ第24回全日本少年 フットサル大会栃木県大会要項

- 1 目的 本大会はフットサル競技を通して心身を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強く創造力豊かな人間の育成を目的とする。
- 2 主催 (公財)日本サッカー協会
- 3 後援 栃木県教育委員会(申請予定) 栃木県市町サッカー協会(申請予定)
- 4 主管 (公社)栃木県サッカー協会 栃木県少年サッカー連盟 栃木県フットサル委員会
- 5 特別協賛 ハウス食品株式会社
- 6 日程〈期日〉平成26年11月8日(土)・9日(日)
〈会場〉栃木県内体育館

7 参加資格

(1) フットサルチームの場合

- ①公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。選手は同一地区内のサッカーチーム登録選手のみで構成されていること。
- ②前項のチームに所属する2002年4月2日以前に生まれた選手であること。
- ③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
- ④帯同審判員は5名以内で、日本サッカー協会公認のフットサル審判員の資格を有し、本連盟主催の審判研修を受講した者。但し、3級以上のフットサル審判の資格を有する者は研修受講を免除する。
- ⑤参加チームの役員(代表者・監督・コーチ・審判員)で最低一人(または登録チーム内役員で最低一人)は、栃木県少年サッカー連盟主催フットサル研修会指導者講習会(6/22)を受講していること。

(2) サッカーチームの場合

- ①公益財団法人日本サッカー協会に「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
- ②前項のチームに所属する2002年4月2日以降に生まれた選手であること。
- ③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
- ④帯同審判員は5名以内で、日本サッカー協会公認のフットサル審判員の資格を有し、本連盟主催の審判研修を受講した者。但し、3級以上のフットサル審判の資格を有する者は研修受講を免除する。
- ⑤参加チームの役員(代表者・監督・コーチ・審判員)で最低一人(または登録チーム内役員で最低一人)は、栃木県少年サッカー連盟主催フットサル研修会指導者講習会(6/22)を受講していること。

(3) 都道府県大会、地域大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(4) チーム役員(代表者を除く)、選手は、複数チームから大会に出場することはできない。

(5) 移籍選手は、正規の手続きで地区予選第1日目の3週間前までに移籍の承認を受けた者。

8 参加チーム 各地区の予選を勝ち抜いたチーム(計48チーム)

北那須地区(6) 南那須塩谷地区(11) 宇河地区(8)
上都賀地区(4) 芳賀地区(6) 下都賀地区(7) 両毛地区(6)

9 大会形式

(1) リーグ戦・決勝戦

- ①1日目: 48チームを8チームずつ6つのブロックに分け、さらに4チームずつ2つのリーグに分けてリーグ戦を行い、各ブロック1位の6チーム準決勝リーグへ進出する。
- ②2日目: 各ブロック1位の6チームを3チームずつの2リーグに分け、準決勝リーグを行い、各リーグの1位同士で決勝戦を行う。

※リーグ戦の順位は次の方法によって決定する。

- ①勝ち点(勝3分1負0)
- ②当該チームの勝敗
- ③得失点差
- ④総得点差
- ⑤抽選

(2) 各地区の優勝チームをシードする。

(3) 同一地区は同じリーグに入らない。

10 競技規則 大会実施年度日本サッカー協会制定のフットサル競技規則による。

11 競技会規定 以下の項目については競技会規定に定める。

(1) ピッチ

- ・大きさ: 原則として、長方形で32m×16m
- ・ペナルティーエリア: ゴールポストから半径5mの1/4円弧とゴールラインに平行な線
- ・センターサークル: 半径2.5m
- ・ペナルティーマーク: 5m
- ・第2ペナルティーマーク: 8m
- ・守備側競技者のボール等から離れる距離: フリーキック、コーナーキック、キックインの時、相手選手は4m離れる。

(2) 使用球 フットサル3号ボール(公認球: 大会本部で準備)

(3) 競技者の数 ベンチ入りできる選手: 参加申込書に記載の最大20名のうち、メンバー票に記載された10名以内の選手とする。

競技者の数：5名 交代要員の数：5名 自由に交代できる。

ピッチ上でプレーできる外国人選手の数：2名以内

(4) チーム役員の数 代表者1名・監督1名・コーチ2名以内とする。

(5) 競技者の用具

①ユニフォーム：

(ア) 試合当日にユニフォーム(シャツ・パンツ・ストッキング)は正の他に、副として正と異なる色のユニフォームを有すること。

(イ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用する。

②靴：靴底は接地面が飴色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズとする。スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。または靴底が飴色か白のゴム底の体育館用シューズとする。

③ビブス：交代要員は競技者と異なる色のビブスを着用しなければならない。

(6) 試合時間

①1日目 ・4チームリーグ：20分間(前・後半10分間)インターバル3分
ランニングタイムとする。

・ブロック代表決定戦：20分間(前・後半10分間)インターバル3分
ランニングタイムとする。

同点の場合はPK方式により次戦への進出チームを決める。

②2日目 ・準決勝リーグ：16分間(前後半各8分間)のプレイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間とする。(前半終了から後半開始まで)

・決勝戦：20分間(前後半各10分間)のプレイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(前半終了から後半開始まで)
同点の場合はPK方式により勝利チームを決める。

(7) 懲罰：

①反則により警告の累積が2回及び退場した選手は、次の1試合を出場停止とする。

②退席処分になった監督・コーチは次の1試合ベンチ入りできない。

(8) その他：ランニングタイムの試合においては、タイムアウトは採用しない

12 参加申込 平成26年9月23日(火)各地区理事まで

13 参加料 10,000円(プログラム代を含む)

14 表彰 優勝・準優勝・第3位(2チーム)・敢闘賞(2チーム)の計6チームに表彰状・トロフィー(またはカップ)を授与する。また、1チームにフェアプレー賞を授与する。なお、優勝チームは全国大会への出場権を得る。

15 監督者会議・審判研修

(1) 期 日 平成26年10月13日(月)

(2) 会 場 監督会議：栃木県総合教育センター(予定)

審判研修：会場未定

(3) 日程と内容 ① 受付 9:40~10:00

② 会議・研修 10:00~11:30

・要項確認 ・ルール確認 ・組み合わせ抽選 ・事務連絡 ・審判研修他

*6/22の審判研修会を受講していない4級帯同審判員は、この審判研修会を必ず受講すること。

16 傷害補償

(1) 大会に参加する選手は、スポーツ安全保険に必ず加入していること。

(2) 大会における選手の傷害等の補償は、スポーツ安全保険の範囲内のみで、主催者は一切負わないものとする。

17 その他

(1) 参加申込書の作成の留意事項。

① 参加選手の氏名、登録番号、所属チームを正しく記入する。

② ユニフォームは参加申込書に記入したものを使用する。参加申込書送付後は変更を認めない。

③ 監督・コーチ・審判や選手に未記入や誤記のあった場合は、該当者のベンチ入りや出場を認めない。

(2) 大会当日、監督証または仮監督証、選手証を必ず持参すること。電子選手証も認める。

(3) 以下に該当するチームは不戦敗(0-7の没収試合)とする。

・色の異なる正副2着のユニフォームを用意できない場合

・試合開始時刻に10分以上遅れた場合

・当日の監督会議に監督が無断で遅刻・欠席した場合

(4) 大会当日第1試合開始40分前に、会場で監督・審判打ち合わせを行う。

(5) 会場内施設の物損事故があった場合は、関係チームのスポーツ安全保険で修理する。

(6) D級以上のライセンスを取得している監督及びコーチのみ、ベンチ入りを認める。但し、代表者はこの限りではない。(D級ライセンス取得者は、少年サッカー連盟主催の技術講習会または県協会主催のカンファレンスを受講していること)